

老人クラブ勧誘パンフレット

老人福祉法における「老人クラブ」の位置づけ

老人クラブは、昭和38年8月に施行された「老人福祉法」において、老人福祉を増進するための事業を行う者として位置付けられています。



第13条 地方公共団体は、老人の心身の健康の保持に資するための教養講座、レクリエーションその他広く老人が自主的かつ積極的に参加することができる事業を実施するように努めなければならない。

2 地方公共団体は、老人福祉を増進することを目的とする事業の振興を図るとともに、老人クラブその他当該事業を行う者に対して、適当な援助をするように努めなければならない。

老人クラブとは・・・

地域を基盤とし、同じような年代の高齢者同士の仲間づくりを通して生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行う自主的な組織です。

会員は、入会を希望する概ね60歳以上の人を対象としており、約30名から100名を標準として活動を行っています。

主な活動内容

老人クラブの活動内容は、クラブによって異なり、多種多様な活動が行われています。老人クラブの話し合いにより「生活を豊かにする楽しい活動」「地域を豊かにする社会活動」を意識した取り組みがなされています。

老人クラブが目指すもの（基本理念）

生きがいづくり 〈高齢期の充実〉 — 趣味・文化・レクリエーション等

健康づくり 〈健康寿命を伸ばす〉 — 健康学習・運動・体力測定等

仲間づくり 〈同世代の連帯・支え合い〉 — 例会・声掛け・友愛・親睦・旅行等

地域づくり 〈社会貢献〉 — 環境美化・リサイクル・ボランティア・世代交流等

3つの会員増強運動

運動1：「勧誘から始めよう！」 —会員一人ひとりが勧誘の担い手です—

- ・会員増強の成功例に共通するのは勧誘活動です
- ・運動スローガンを高年、女性、若手会員で実践しよう

運動2：「クラブをPRしよう！」 —知られていますか、あなたのクラブ—

- ・自治会活動にも参加し、地域で存在が知られるようにしよう
- ・行政と連携して「介護予防活動」の輪を地域の高齢者に広げよう
- ・口コミ、ポスター、チラシ、会報、ホームページ等創意工夫してPRしよう
- ・「いきいきサロン」はPRの場。運営にもかかわろう

運動3：「クラブをつくろう！」 —すべての地域にクラブの設置を—

- ・自治会と連携して未設置地域に老人クラブをつくろう
- ・解散の近隣クラブをホスト役に老連と連携してクラブを再生しよう
- ・高齢者の増加に伴い、一地域に複数クラブの設置を目指そう
- ・高齢者の意向が多様化する中、新しいタイプのクラブを考えよう

・・・老人クラブの魅力・・・ 新しい会員への呼びかけ

老人クラブ会員になると
いきいきとした高齢期の生活（シニアライフ）が実現します。



① 地域に新しい仲間ができる

- 老人クラブに加入すると、地域の同世代と仲間づくりができる。
- 地域の各世代との交流ができる、多くの親しい関係が生まれる。
- 老人クラブ活動と交流によって、社会性が保持され、連帯感が深まる。

② 健康の保持・増進になる

- 老人クラブ活動へ参加すれば、閉じこもりの防止、健康の保持・増進につながる。
- ねたきりゼロ運動やいきいきクラブ体操、健康ウォーキング、各種のシニア・スポーツなどへの参加を通して、健康の保持・増進になる。
- 友愛活動や社会奉仕の日の活動などを通して、精神的な充実感、こころと身体の健康が実現する。

③ 知識や経験を生かし、新しい能力の発揮ができる

- これまでの生活や仕事、趣味などの知識や経験を生かす機会が増える。
- 老人クラブ活動への参加を通して、新しい学習や能力を生かす機会が増え、自己実現につながる。
- 地域の伝承文化を世代交流などにより若い人達に伝えることができる。

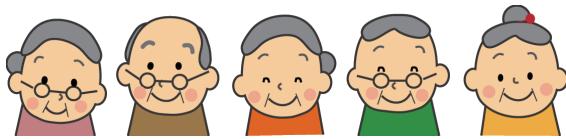
④ 社会活動への参画と貢献ができる

- 「花のあるまち、ゴミのないまち」運動やリサイクル運動などを通して、地域環境の保全や美化、緑化など、住みよい環境づくりに参画・貢献できる。
- 「在宅福祉を支える友愛活動」やその他のボランティア活動などへの参加を通して、地域福祉の担い手として一翼を担うと同時に、地域の福祉と保健・医療サービスの充実についても働きかけるなど推進役となる。
- 老人クラブ活動を通して「まちづくり計画」などへ参画し、高齢者の立場から豊かな地域づくりへの提言などができる。

⑤ 心の安らぎ、充実感が得られる

- 地域に多くの仲間ができることで、孤独感がなくなり、心の安らぎが得られる。
- 仲間との交流は、日常生活に必要な情報交換に役立ち、心配ごとや悩み事の相談を容易にする。
- 老人クラブ活動を企画し実践するなかで、達成感や満足感、あるいは実践の評価に伴う充実感、感謝の気持ちなど、多くの精神的な喜びを味わうことができる。

入会のすすめ



今まで加入されなかった理由は何でしょうか？ 良いところをご存じですか？

これまで勧誘される事がなかったとか、自分から誰にどのように申し出るかなどよくわからないし、何となく加入しないままの方もおられるでしょう。

老人クラブでどんな活動をやっているかは自治会等での紹介でご存知でしょうが、老人クラブに対する次のようなこだわりがあるならば、ご再考をお願いします。

1 働いている。まだ若い。自分でいろいろやっているし・・・と考えている方も多いのですが

- ・老人クラブの活動や行事は、様々な曜日、時間帯で実施されるので、あまり支障になることはありません。ご都合がつく範囲で参加していただける多くの活動があります。
- ・高齢化や体の衰えなどで、あまり遠方に出向くことができなくなつてから、身近なクラブに加入しても、なじみがうまく得られなくなる恐れがあるので、「まだ早い」と考えない方が良いでしょう。（なじみは、ふれあいの頻度・累積によって変わります。）

2 加入している会員と性格や考え方などが違うように思い、なじまないと感じている方はおられますか？

- ・現役時の職務・地位や考え方・趣向などが違うような人と一緒に活動を行うことが嫌という意識（男性が多い）や、面倒くさいとして老人クラブに入りたがらない方は多いのですが、会員同士のゆるいつながり、上下関係なしの気楽な気風の中で、気の合う方は必ず見つけられます。また、多くのふれあいや活動の中で、知らない者同士がふれあうことで自分の意識や態度・行動を変化させることにつながり、新たな仲間と親密で素敵な関係を築いていけるでしょう。
- ・他のメンバーとは違う仕事や趣味・特技などの知識・経験・各種ノウハウをお持ちならば、ご自分や少数のグループだけでなく、老人クラブで活躍する機会（指導、紹介など）を持っていただくようにお願いします。

3 役員になるのがいやと加入を断わられる方もありますが・・・

- ・役員は、名簿などの順番で選出されることではなく、互選や推薦で選ばれます。役は多くの種類があり、それぞれの役目は違います。ご都合があつてやりたくない場合はお断りになればよいでしょう。
- ・過去のキャリアなどから、幹部役員になっていただくのがふさわしい方でも、加入して役員に就きたくないというのであれば、まずはアドバイザーなどとして、老人クラブに加入していただけないでしょうか。

4 他のサークル、市などのイベントなど多くの面白そうなところがある中で、老人クラブにという気分にはなれない。

- ・老人クラブではよく目にするスポーツイベント等の他にもカラオケや健康体操など楽しい行事がたくさんあります。老人クラブ活動は気負わず、気楽に参加できること、そこでのふれあい・交流の良さ、楽しさ、気遣いあう心身の健やかさ等は、会員でないとわかりにくいかかもしれません。
- ・いろいろと楽しそうな活動が多い大都市では、地域での身近な交流や社会参加の意識が低く、老人クラブ加入も少ないとも言えますが、地域での老人クラブ等、高齢者同士のきずな、支え合いの重要性はますます高まっているのです。

老人クラブの魅力・メリット

- ①一般的のクラブ・団体に比べて大変安い会費で、サークル・同好会、サロン、支え合いなど多くの催し・活動の中から、好きなものに気軽に参加し、楽しむことができます。
 - ・行政から施設、道具・備品や補助金など、多くの支援もあります。
- ②仲間とのふれあい、お互いへの気配り・思いやり、地域における役立ち感などにより、他の場合とは違う楽しさ、生きがい、健やかさを感じられることは確かで、加入された方は皆「入って良かった」と言われます。

5 今更、組織に入りたくない。縛られたくない

- ・高齢者という人生のステージにおいて、ややこしい、煩わしいと感じられる方でも老人クラブはゆるやかで気楽な組織であり、「地域での人とのつながりは命綱」と専門家が唱えているように、あなた、ご夫婦がより豊かに健やかに暮らすために役立つ貴重な枠組みの一つとして、老人クラブをとらえていただければ幸いです。



単位クラブ名

老人クラブメインテーマ

のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを

愛知いきいきクラブ

(公財) 愛知県老人クラブ連合会／市町村老人クラブ連合会